

ジェイシスメディカル、国内美容医療機器メーカーでは初めて国際シンポジウム（SALSA）が開催
- 13カ国約150人参加、国際シンポジウムとしてその価値を認められて

国内皮膚美容医療機器メーカーである(株)ジェイシメディカル（www.jeisys.com、代表カン・トンファン）が、皮膚美容医療機器メーカーでは初めて、独自に国際シンポジウムを開催して話題になっている。

去る6月29日から30日までの両日間、美しいリゾート地として名高いタイのプーケットで開催された今回の行事は、アジア、米国、欧州、インドなど、世界13カ国、約150人が参加した大規模な国際シンポジウムとして知られた。



Star Asia Laser Surgeons Allies（SALSA）という正式名称を持つ今回の行事では、韓国のヨ・ウンチョル院長が初代会長を務めて、米国のDr.シェリー・トーマス（Dr. Sherry Thomas）、日本の伊藤史子先生（Dr. Ayako Ito）、スペインのDr.ジュリー・スアレス（Dr. July Jaimes Suarez）、マレーシアのDr.ウンク・シャーリン（Dr. Ungku Shahrin）、インドのDr.ビベク・メータ（Dr. Vivek Mehta）など10カ国、12人の国内外の医師が講演者として参加した。

特別なことは、すでにヨーロッパCE認証を取得して、海外で大きな反響を得ているジェイシスの脂肪治療機器であるリポセル™（LIPOcel™）への関心が熱かった。これは、特許機能のContact Coolingシステムにより、高エネルギーにも患者が感じる痛みが少ないため、比較的短期間に良い効果を出すことができるという点から、参加者に大きな共感を呼び起こしたようだ、とジェイシメディカルの関係

者は話した。

リポセルだけでなく、最近アップグレードした機能で販売の逆走を起こしているウルトラセル（ULTRAcel）、着実に名声を築いているNd：YAG機器のトライビーム（TRI-BEAM）、そしてCO2レーザー装置であるエッジワン（Edge ONE）も、今回の行事で様々な研究結果及び施術方法などが紹介された。

ジェイシメディカルのマーケティング担当者は、グローバル企業としての評判が確認できた今回のSALSAシンポジウムは、第1回会議の成功という結果に力づけられ、様々なプログラムとともに継続的に開催する計画であることを明らかにし、今後の歩みがさらに期待されている。

